

校区で生活するなかで、どのお困りごとがありますか？
「質問1の項目」から浮かび上がる校区の姿

現和校区：全体集計

1 家と地域社会：継承の危機

B003 家族・親族を主体とした家と地域社会の継承ができなくなってきたている。

A004 家族・親族を主体とした家の継承ができなくなってきたている。

002 子ども

の数が減つて、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である。(ひと)

014 頼れる家族や親戚が近くにいない人が多い。(支援)

007 自宅の修理や空き家の管理ができない。(くらし)

002 子ども

の数が減つて、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である。(ひと)

相互に悪循環サイクルをなし

通底し

相互に悪循環サイクルをなし

通底し

相互に悪循環サイクルをなし

3 生活と生計：消滅の危機

C002 地域住民の生活と生計を支える産業が少ない。

008 スーパーや商店がない(少ない)。(くらし)

011 働く場が無く(少なく)、賃金も少ない。(おかね)

4 交通手段：不便

A001 交通手段の利便性が悪く、望む行動が制約される。

012 地域公共交通等交通機関の利用時間が合わない。(交通)

(1) 2021年7月7日
(2) 情報工房
(3) 校区アンケート「質問1」の質問17項目
(4) 山浦晴男

013 行きたいところに行ける利用しやすい交通手段がない。(交通)

2つの側面

抛って立つ基盤には

■アンケート集計結果

ランク	得点幅	模様
A	392.1~490	■■■■■
B	294.1~392	■■■■■
C	196.1~294	■■■■■
D	98.1~196	■■■■■
E	0.1~98	■■■■■

(最高得点：486.6点)
(回答者数：639人)

5 防災対応：手薄

C003 道路基盤整備を含めた交通災害・自然災害に対する防災が手薄である。

017 道路が舗装されていない。(防災)

006 危険箇所が多い(防犯灯・カーブミラー等の設置が不十分)。(くらし)

016 災害時に避難する場所がなく、防災等に対する取り組みが少ない。(防災)

018 その他：

注1) 文頭の数字は、質問項目の番号を示す。
注2) 文頭のアルファベットは、階層構造の段階を示す。

注3) 左上の丸数字は、分析結果の解説のストーリーの流れを示す。

現和校区「地域づくりアンケート」回答結果

(2023年4月アンケート)

【分析結果】

「質問1の項目」(校区での生活の困りごと)から浮かび上がった校区の姿は、次のようにある。

「家と地域社会」「地域共同体」「生活と生計」の3つの要素が、相互に悪循環サイクルをなしている。

第1の「家と地域社会」は、「継承の危機」にある。家族・親族を主体とした家と地域社会の継承ができなくなってきたている。

第2の「地域共同体」は、「解体の危機」にある。学校・集落の地域共同体が、解体の方向に傾きつつある。

第3の「生活と生計」は、「消滅の危機」にある。地域住民の生活と生計を支える産業が少ない。これらがよって立つ基盤には、2つの側面がある。

一方は「交通手段」で、「不便」である。交通手段の利便性が悪く、望む行動が制約される。

もう一方は「防災対応」で、「手薄」となっている。道路基盤整備を含めた交通災害・自然災害に対する防災が手薄である。

以上のように、現在の困りごとをこのまま放置すると近い将来、校区の地域社会の存続が危ぶまれる状況におかかれていることが、浮かび上がった。